

# 朝霞市の財政

～ぼくといっしょにべんきょうしよう～



朝霞市キャラクター  
ぼぼたん

平成29年12月

朝霞市



# 目次

## 第1章 決算から見る朝霞市の財政状況

1	朝霞市の財政状況	1
2	平成28年度全会計の決算状況	2
3	平成28年度一般会計決算	3
4	一般会計収支決算の推移	7
5	市税収入の推移	8
6	性質別決算の推移	9
7	扶助費の推移	10
8	市債残高の推移	11
9	基金残高と財政調整基金の推移	12

## 第2章 主要な財政指標の推移

1	財政力指数・経常収支比率	14
2	健全化判断比率	16

## 第3章 予算編成

1	予算編成の流れ	19
2	平成29年度一般会計当初予算	20

番外編	P o i n t解説 (ぽぽたんのぎもん)	22
-----	------------------------	----

## 資料編

1	歳入・歳出決算額の推移	25
2	実質収支の推移 (一般会計)	26
3	市債現在高の推移	27

# 第1章 決算から見る朝霞市の財政状況



ほくは、あさかしキャラクターの「ほぼたん」だよ。  
ほくといっしょにあさかしのざいせいについてべんきょうしよう。

## 1 朝霞市の財政状況

朝霞市は都心に近く、交通の利便性に優れるとともに、豊かな自然と景観がある、都会のベッドタウンとしてこれまで発展してきたんだよ。この朝霞ならではの自然と都市のバランスを図り、さらに調和させていくことで、まちが暮らしやすくなると考えているんだ。そこで、平成28年度から第5次朝霞市総合計画で掲げる将来像「私が暮らしたつづけたいまち 朝霞」の実現を目指して、日々の行財政運営に取り組んでいるんだよ。

平成29年11月に内閣府が公表した月例経済報告では、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」と指摘されていて、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いているんだ。

このような財政状況の中、歳入では、国や県などの補助制度を最大限活用しているほか、市税の徴収率向上にも努めているよ。歳出では、限られた財源を有効活用するため、政策主導型の予算編成をしているよ。これは、事業の取捨選択を進めるとともに、既存事業の見直しによる経費の節減に努めているんだ。

ただ、現状では、経常収支比率が92.8%と非常に高い状況で財政の硬直化が続き、依然として朝霞市の財政状況は厳しい局面にあるんだよ。また、厳しい財政状況においても市民サービスの水準を低下させないため、貯金である財政調整基金を活用してきたんだ。平成25年度末に残高がとても少ない状況になったけど、平成26年度以降、市税収入の回復傾向とともに、財政調整基金残高を増やしてきたんだ。しかし、依然として朝霞市の財政規模に対しては、低い水準となっているんだよ。

また、国の消費税を始めとした税制改正や地方交付税を取り巻く状況が不透明で、歳入が大幅に増える見込みを立てることは難しく、歳出面では、社会保障関係経費の増加が引き続き見込まれることから、今後、より一層の計画的かつ効率的な財政運営を推進していく必要があるんだよ。



## 2 平成28年度全会計の決算状況

市では、市民のみんなが必要とするサービスを提供するため、色々な仕事をしているよ。そこで、お金をどこでどう使うか、どのようなことに使うかなど、分かりやすくするため、会計という名前のお財布に分けているんだ。

朝霞市では一般会計（1会計）、特別会計（4会計）、公営企業会計（1会計）の3種類、計6つのお財布に分けて事業を実施しているよ。

### 【決算の総額】

#### 一般会計

歳入 **402億6,121万3千円**  
歳出 **391億9,548万8千円**

福祉、医療、教育、道路や公園の整備など、市の基本的なサービスを行う会計だよ。  
市民のみんなが納めている市税は、主に一般会計に使われているんだ。  
一般会計は1つしかないんだよ。

#### 特別会計

歳入 **227億9,403万8千円**  
歳出 **220億5,903万4千円**

朝霞市の特別会計は、国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療保険の4つあるよ。  
下水道料金は下水道管を作るために使うといった様に、決まった収入を決まった支出に使うため、一般会計とは区別しているよ。

#### 公営企業会計

歳入 **30億7,012万6千円**  
歳出 **31億6,199万8千円**

水道事業の1会計だよ。民間企業と同じように、基本的には事業の収益でまかなわれているよ。水道事業は水道料金で運営しているよ。

### 3 平成28年度一般会計決算

しぜいがいっぱい

#### 【歳入の状況】

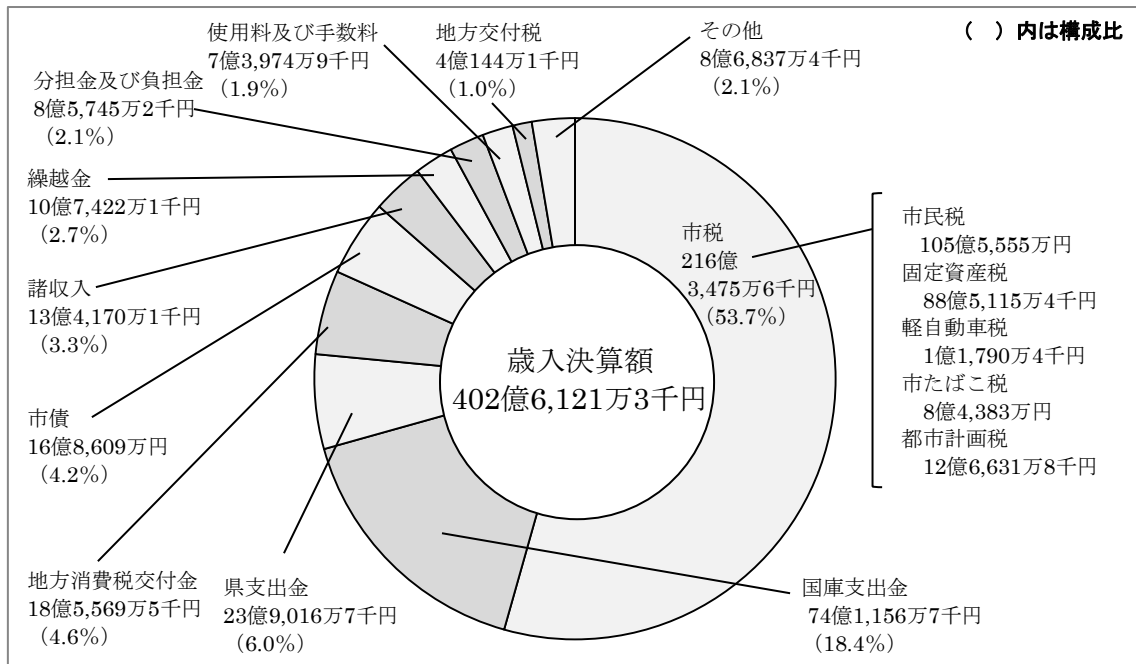
市では1年間に入ってくるお金を「歳入」と呼ぶんだよ。歳入には、下のグラフにあるように、市税だけでなく、国や県からくるものや施設の利用料など、色々な種類があるんだ。



歳入決算額とは、歳入総額のことだよ。前年度より11億6,199万8千円(3.0%)多かったよ。

市民のみんなが納める市税は、前年度より3億7,122万7千円(1.7%)多かったよ。

また、国や県からは、前年度より、10億5,098万円(16.5%)と、9,981万7千円(4.4%)多くもらったよ。



平成29年3月31日現在人口 137,271人

市民1人当たりの市税負担額					157,606円
市民税	固定資産税	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税	
76,896円	64,479円	859円	6,147円	9,225円	

朝霞市の歳入は、半分以上が市税  
だということが分かったかな。

わかったよ



うん。うん。

【自主財源と依存財源】

自主財源とは、市が自主的に収入できる財源のことなんだよ。  
 平成28年度一般会計決算では、歳入総額の64.1%が自主財源なんだ。一方、依存財源とは、国や県などからくるものや借り入れた収入などのことをいうよ。



(単位：千円・%)

区 分	平成28年度		平成27年度		増減額	対前年比
	決算額	構成比	決算額	構成比		
市 税	21,634,756	53.7	21,263,529	54.4	371,227	101.7
市 民 税	10,555,550	26.2	10,276,145	26.3	279,405	102.7
固 定 資 産 税	8,851,154	22.0	8,785,484	22.5	65,670	100.7
軽 自 動 車 税	117,904	0.3	94,629	0.2	23,275	124.6
市 た ば こ 税	843,830	2.1	851,344	2.2	△ 7,514	99.1
都 市 計 画 税	1,266,318	3.1	1,255,927	3.2	10,391	100.8
地 方 譲 与 税	215,524	0.5	200,716	0.5	14,808	107.4
利 子 割 交 付 金	20,791	0.1	32,193	0.1	△ 11,402	64.6
配 当 割 交 付 金	86,741	0.2	130,680	0.3	△ 43,939	66.4
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	52,978	0.1	132,599	0.3	△ 79,621	40.0
地 方 消 費 税 交 付 金	1,855,695	4.6	2,043,702	5.2	△ 188,007	90.8
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	14,572	0.0	14,454	0.0	118	100.8
自 動 車 取 得 税 交 付 金	62,666	0.2	60,560	0.2	2,106	103.5
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	121,629	0.3	115,181	0.3	6,448	105.6
地 方 特 例 交 付 金	121,176	0.3	111,539	0.3	9,637	108.6
地 方 交 付 税	401,441	1.0	467,441	1.2	△ 66,000	85.9
普 通 交 付 税	282,874	0.7	339,420	0.9	△ 56,546	83.3
特 別 交 付 税	118,567	0.3	128,021	0.3	△ 9,454	92.6
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,494	0.0	15,028	0.0	△ 534	96.4
分 担 金 及 び 負 担 金	857,452	2.1	838,475	2.2	18,977	102.3
使 用 料 及 び 手 数 料	739,749	1.9	741,909	1.9	△ 2,160	99.7
国 庫 支 出 金	7,411,567	18.4	6,360,587	16.3	1,050,980	116.5
県 支 出 金	2,390,167	6.0	2,290,350	5.9	99,817	104.4
財 産 収 入	91,119	0.2	51,234	0.1	39,885	177.8
寄 附 金	1,013	0.0	1,819	0.0	△ 806	55.7
繰 入 金	65,671	0.2	173,241	0.4	△ 107,570	37.9
繰 越 金	1,074,221	2.7	947,530	2.4	126,691	113.4
諸 収 入	1,341,701	3.3	1,249,863	3.2	91,838	107.3
市 債	1,686,090	4.2	1,856,585	4.8	△ 170,495	90.8
合 計	40,261,213	100.0	39,099,215	100.0	1,161,998	103.0

※網掛け部分は自主財源を、それ以外は依存財源を表しているよ。

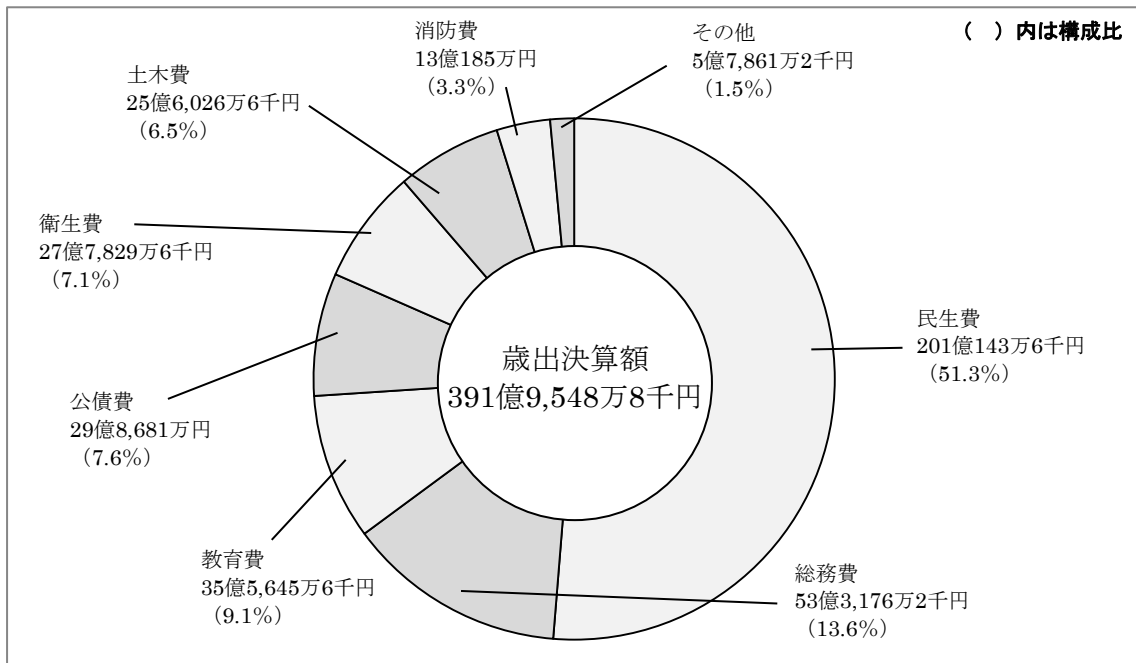
みんなのひがいっばい

【歳出の状況】

市では1年間に使うお金のことを「歳出」と呼ぶんだよ。下のグラフは、お金を使った目的別に分けているんだよ。歳出では、目的別で表す以外に、使った性質別で表すこともあるんだ。

歳出決算額とは、歳出総額のことだよ。前年度より11億7,049万4千円(3.1%)多かったよ。

この中でも民生費は、毎年増えていて歳出総額の半分以上を占めているんだ。今後も増えていくと考えられているよ。



平成29年3月31日現在人口 137,271人

市民1人当たりに使われたお金							285,534円
民生費	総務費	教育費	公債費	衛生費	土木費	消防費	その他
146,436円	38,841円	25,908円	21,759円	20,240円	18,651円	9,484円	4,215円

Point① → あとで解説するよ!

市民一人当たりの市税負担額より、使われたお金の方が多いいんだよ!  
民生費は歳出の半分以上を占めているんだ。民生費は具体的にどんなサービスがあって、何で今後も増えていくか、ぼぼたんはわかるかな?





(単位：千円・%)

区 分	平成28年度		平成27年度		増減額	対前 年 比	主 な 増 減 理 由
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比			
議 会 費	280,222	0.7	282,878	0.7	△ 2,656	99.1	議員共済会共済給付費負担金の減 △16,129
総 務 費	5,331,762	13.6	5,672,270	14.9	△ 340,508	94.0	財政調整基金積立金の減 △335,382 旧憩いの湯解体工事の増 126,943 庁舎施設耐震化事業の減 △138,456
民 生 費	20,101,436	51.3	18,559,284	48.8	1,542,152	108.3	介護給付・訓練等給付費負担金の増 135,221 高齢者支援臨時福祉給付金の増 234,690 地域密着型サービス等整備費補助金の増 130,179 子どものための教育・保育給付負担金の増 312,835 社会福祉法人立保育園整備事業補助金の増 638,073 国民健康保険特別会計繰出金の減 △129,817
衛 生 費	2,778,296	7.1	2,727,219	7.2	51,077	101.9	各種個別予防接種委託料の増 18,068 健康増進センター施設改修工事の増 32,611 ごみ焼却処理施設運転管理委託料の減 △29,677 ごみ焼却処理施設整備計画策定委託料の増 74,218
労 働 費	1,419	0.0	1,454	0.0	△ 35	97.6	勤労者住宅資金貸付利子補給補助金の減 △25
農 林 水 産 業 費	64,407	0.2	69,987	0.2	△ 5,580	92.0	市民農園管理委託料の減 △1,298 既存農園整備工事の減 △843 環境保全型農業推進事業費補助金の減 △502
商 工 費	232,536	0.6	379,228	1.0	△ 146,692	61.3	小口等融資貸付預託金の減 △9,626 個人住宅リフォーム資金補助金の減 △14,873 プレミアム付商品券発行事業補助金の減 △113,931
土 木 費	2,560,266	6.5	2,424,980	6.4	135,286	105.6	道路用地取得事業道路用地購入費の減 △55,437 観音通線街路用地購入費の増 125,239 観音通線建物等移転補償料の増 204,983 下水道事業特別会計繰出金の減 △99,683
消 防 費	1,301,850	3.3	1,309,480	3.4	△ 7,630	99.4	朝霞地区一部事務組合消防負担金の減 △20,764 消防団詰所改築工事設計委託料の増 4,231 消火栓新設及び維持管理費負担金の増 4,123
教 育 費	3,556,456	9.1	3,601,534	9.5	△ 45,078	98.7	小学校コンピュータ整備事業電算機借上料の増 21,742 給食賄材料費の増 48,439 内間木公民館施設改修工事の減 △135,648
公 債 費	2,986,810	7.6	2,996,465	7.9	△ 9,655	99.7	地方債元金の増 45,882 地方債利子の減 △55,537
諸 支 出 金	28	0.0	215	0.0	△ 187	13.0	土地開発基金繰出金の減 △187
合 計	39,195,488	100.0	38,024,994	100.0	1,170,494	103.1	

議会費…議会の活動に要する経費

総務費…戸籍・統計・徴税・選挙等の経費

民生費…福祉など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するために支出される経費

衛生費…住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費

労働費…労働者を支援するための各種事業に要する経費

農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費

商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興等のための経費

土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画等に要する経費

消防費…災害から地域住民の生命と財産を守るために必要な消防設備等の整備を行うための経費

教育費…学校・図書館・公民館・博物館等の施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務のための経費

公債費…市が借り入れた市債（借金）の元金、利子の償還費

## 4 一般会計収支決算の推移

一般会計の収支決算状況は以下の表のとおりだよ。

**平成28年度決算は実質単年度収支が黒字だったよ。**これは、単年度収支は赤字だったけど、積立金の取崩しが少なかったことが要因だよ。

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歳入	A	35,743,302	36,342,623	36,238,221	37,035,171	37,632,149	39,099,215	40,261,213
歳出	B	34,518,678	35,223,740	35,162,140	35,616,943	36,684,619	38,024,994	39,195,488
歳入歳出差引額 (A-B)	C	1,224,624	1,118,883	1,076,081	1,418,228	947,530	1,074,221	1,065,725
翌年度に繰り越すべき財源	D	75,026	70,428	65,830	101,533	43,753	64,835	60,672
実質収支 (C-D)	E	1,149,598	1,048,455	1,010,251	1,316,695	903,777	1,009,386	1,005,053
単年度収支	F	△ 74,067	△ 101,143	△ 38,204	306,444	△ 412,918	105,609	△ 4,333
積立金	G	1,478	667	903	505,434	658,835	853,903	518,521
繰上償還金	H							
積立金取崩し額	I	336,691	81,919	406,361	805,804	279,453	141,705	54,911
実質単年度収支 (F+G+H-I)	J	△ 409,280	△ 182,395	△ 443,662	6,074	△ 33,536	817,807	459,277

### 【実質収支（E）】

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた数値で、当該年度の実質的な収支（黒字、赤字）を表すよ。

### 【単年度収支（F）】

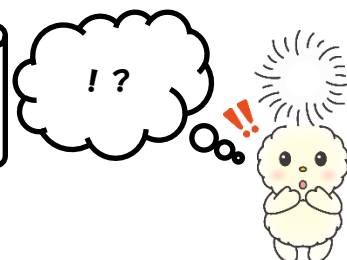
当該年度の歳入には、その前年度の実質収支も繰越金として引き継がれているため、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いて、単年度で黒字であったか赤字であったかを表すよ。

### 【実質単年度収支（J）】

実質的な黒字要素（財政調整基金への積立金や債務を繰り上げて償還した繰上償還金）や赤字要素（積立金取崩し額）が、歳入、歳出に措置されなかった場合、単年度収支がどのようになっていたかを表すよ。

**Point② → あとで解説するよ！**

**黒字ということは、朝霞市はお金持ちだと思うかな？**



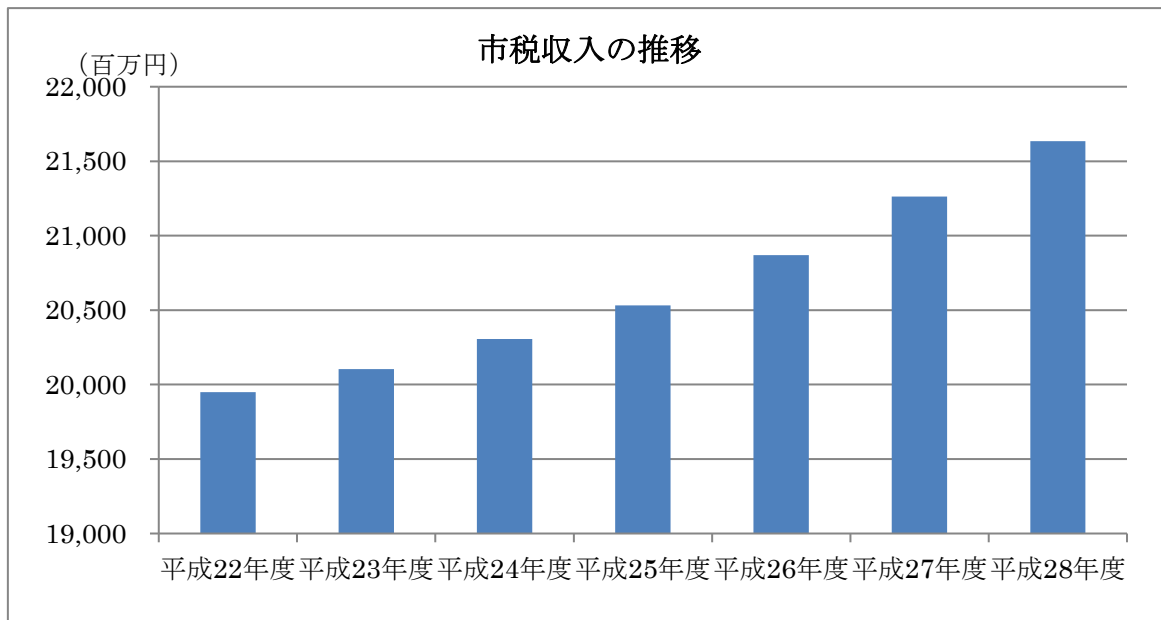
## 5 市税収入の推移

市税収入額の推移は以下の表のとおりだよ。

平成28年度は、個人市民税が増えた結果、市税収入の合計も前年度より3億7,122万7千円（1.7%）増えたよ。

(単位:千円)

歳入	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民税(個人)	8,694,649	8,595,616	8,992,563	9,110,183	9,189,758	9,419,228	9,725,466
市民税(法人)	771,291	870,836	917,903	847,986	910,391	856,917	830,084
固定資産税	8,546,379	8,588,113	8,350,834	8,410,543	8,597,231	8,785,484	8,851,154
軽自動車税	79,210	80,967	83,382	86,441	90,134	94,629	117,904
市たばこ税	665,666	763,005	767,288	873,048	851,848	851,344	843,830
特別土地保有税							
都市計画税	1,193,066	1,205,602	1,194,332	1,204,448	1,229,813	1,255,927	1,266,318
市税合計	19,950,261	20,104,139	20,306,302	20,532,649	20,869,175	21,263,529	21,634,756



**Point③** → あとで解説するよ!

近年、市税収入は毎年増えているんだ。

市税は大事な財源だから、今後も大事にしていかなきゃいけないね。

朝霞市の場合、もしも市税が減収になると、どうなるかわかるかな？



## 6 性質別決算の推移

ふじょひがふえているね

一般会計決算をお金を使った性質別に見ると、扶助費が毎年増えているね。今後も障害福祉サービスや保育需要の増加などに伴って、扶助費が増えていくと予想されているよ。



(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人件費	6,282,036	6,253,893	6,235,014	6,060,348	6,966,792	7,070,046	7,147,061
(うち職員給)	4,293,175	4,197,506	4,249,545	4,115,683	4,291,136	4,344,482	4,510,490
扶助費	8,078,851	8,671,936	8,936,150	9,254,243	9,734,826	10,748,543	11,392,315
公債費	2,991,975	3,132,393	3,155,720	3,200,426	3,154,633	2,996,465	2,986,810
物件費	7,879,443	7,983,808	8,018,211	8,104,345	7,487,852	7,499,001	7,641,636
維持補修費	505,254	496,140	457,547	389,147	394,227	349,299	379,823
補助費等	3,584,738	3,440,589	3,782,530	3,756,105	4,405,043	4,198,162	3,958,928
繰出金	2,461,430	2,366,897	2,201,085	2,704,530	2,265,975	2,454,199	2,367,398
投資及び出資金							
貸付金	114,050	127,780	133,790	129,260	119,530	112,440	102,844
積立金	2,770	1,559	1,397	505,770	659,328	857,300	518,761
普通建設事業費	2,618,131	2,748,745	2,240,696	1,512,769	1,496,413	1,739,539	2,699,912
合計	34,518,678	35,223,740	35,162,140	35,616,943	36,684,619	38,024,994	39,195,488

人件費…市職員の給与、市長・市議会議員の報酬等

扶助費…生活保護や児童福祉、障害者福祉などの社会保障に要する経費

公債費…地方債の元金の返済や利子の支払いにかかる経費

物件費…施設の光熱水費や消耗品、備品購入費、各種委託料などに要する経費

補助費等…各種団体に対する補助金や講師への謝礼などに要する経費

繰出金…特別会計に支出するための経費

普通建設事業費…道路、学校などの施設の建設事業などに要する経費

その他…施設の修繕料などのための「維持補修費」や、財政調整基金などに積み立てる「積立金」等

そうなんだ

平成28年度は、民間保育園を4園設置することに対して、市の支出が増えたため、普通建設事業費が最も伸びているよ。



せいかつをささえる  
おかねなんだね

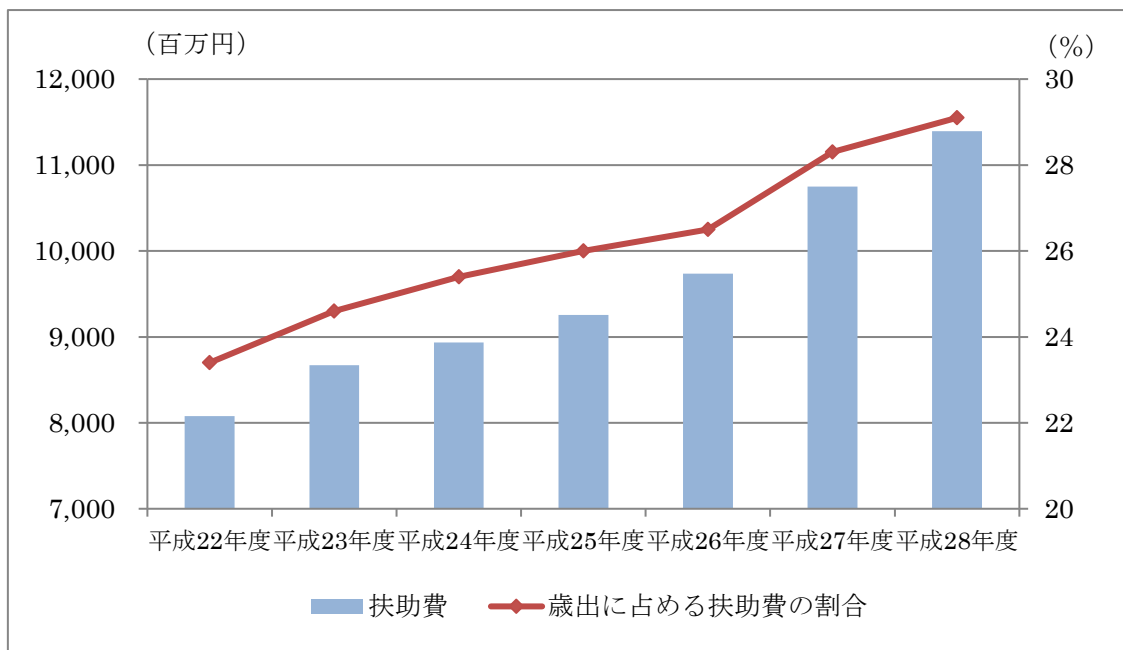
## 7 扶助費の推移

扶助費とは、生活に困っている人や子育てをしている人、障害者や高齢者などの生活を支えるためのお金のことだよ。毎年増えていて、前年度より6億4,377万2千円増えているよ。

扶助費が増えて自由に使えるお金が減ってきてしまっているんだ。  
でもね、みんなの生活を支えるお金のため、扶助費はとっても大切なんだよ。



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
扶助費	8,078,851	8,671,936	8,936,150	9,254,243	9,734,826	10,748,543	11,392,315
歳出総額	34,518,678	35,223,740	35,162,140	35,616,943	36,684,619	38,024,994	39,195,488
歳出に占める 扶助費の割合	23.4	24.6	25.4	26.0	26.5	28.3	29.1



**Point④ → あとで解説するよ!**

平成28年度は平成22年度と比べると、約1.4倍になっていて、これから先も増えていくことが予想されているんだ。

扶助費がこれからも増えていくと、財政状況はどうなるのかわかるかな?

## 8 市債残高の推移

しゃっきんなんだ

市債とは、市の借金だよ。道路や学校、保育園など長い期間利用できる公共施設を整備するときなどに借りるんだ。大きい工事などをする際は、たくさんお金がかかるため、その年度の歳入だけで支払うのは、難しいんだ。また、市民が長い期間にわたって使う施設であれば、それを将来利用する市民にも借金の返済という形で負担してもらうんだ。そうして世代間負担の公平性を保っているんだよ。



**朝霞市全体の市債残高は、毎年減少していたけど、平成29年度末は、少し増える見込みだよ。**

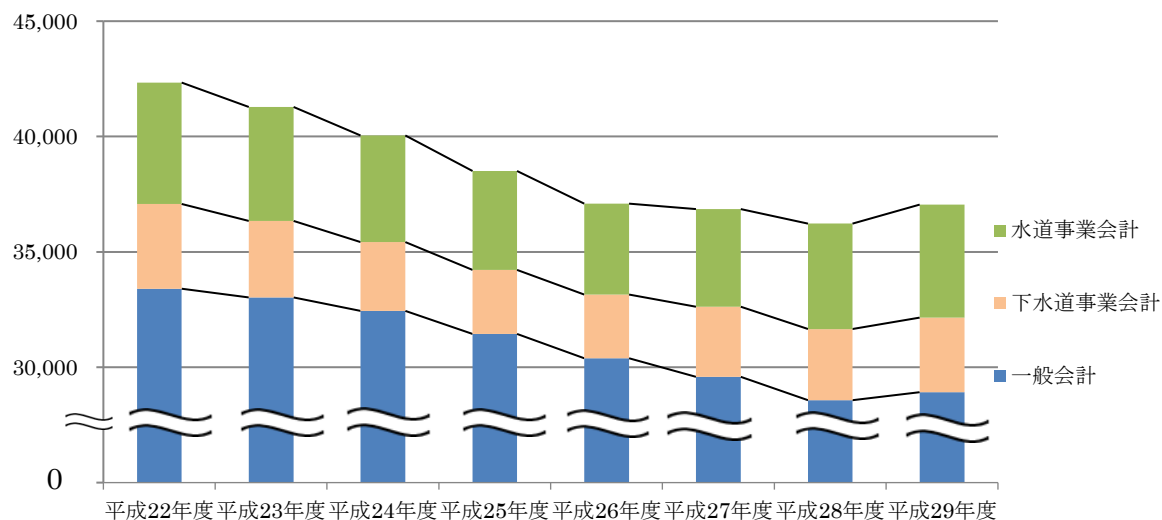
(単位:千円)

	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末 (見込)
一般会計	33,404,623	33,026,804	32,442,721	31,441,606	30,386,209	29,587,241	28,571,896	28,923,443
下水道事業会計	3,673,314	3,311,999	2,981,055	2,783,330	2,771,444	3,038,948	3,086,945	3,235,104
水道事業会計	5,260,670	4,947,403	4,621,789	4,283,309	3,931,418	4,235,746	4,566,720	4,889,282
合計	42,338,607	41,286,206	40,045,565	38,508,245	37,089,071	36,861,935	36,225,561	37,047,829

※平成29年度については、平成29年12月時点の見込みだよ。

(百万円)

全会計の市債残高



## 9 基金残高と財政調整基金の推移

ちょきん!



### 【基金残高】

基金とは、決まった目的のために使う貯金のことだよ。でも、財政調整基金だけは、不測の事態に備えるために貯めている貯金だよ。朝霞市では、ルールを決めて、5つの基金を設置しているよ。

基金名	基金の目的	平成28年度末 現在高(千円)
財政調整基金	年度間の財源が不足した場合に備えて、必要な資金を積み立てているよ。	2,007,046
基地跡地整備基金	基地跡地の整備のために必要な資金を積み立てているよ。	317,940
みどりのまちづくり基金	緑地の保全や緑化の推進に必要な資金を積み立てているよ。	10,013
土地開発基金	土地を買うために必要な資金を積み立てているよ。	3,050,597
福祉資金貸付基金	福祉資金の貸付けに必要な資金を積み立てているよ。	11,606
合 計		5,397,202

もっともっとちょきん!

### 【財政調整基金】

財政調整基金は、景気の影響などで大幅に税収が減ること、地震や台風などの災害がおきた時などによる思わぬ支出が増えるなど、思いもよらない収入の減少や予定外の支出の増加に備えて、安定した財政運営を行う（市民サービスを提供する）ために積み立てている貯金なんだよ。



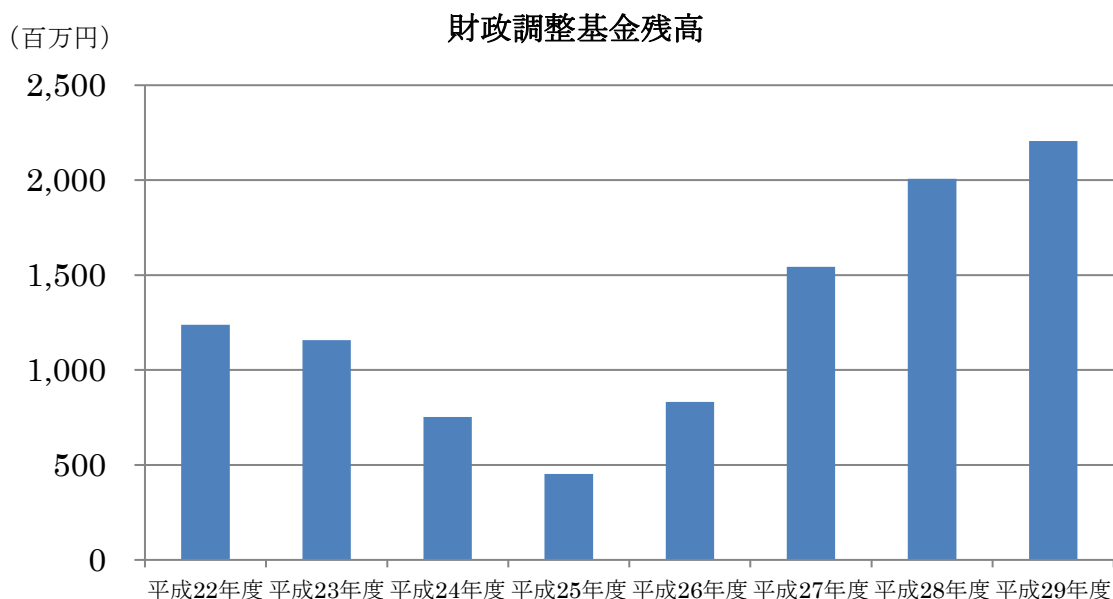
(単位:千円)

	平成22年度末 現在高	平成23年度末 現在高	平成24年度末 現在高	平成25年度末 現在高	平成26年度末 現在高	平成27年度末 現在高	平成28年度末 現在高	平成29年度末 現在高(見込)
財政調整基金	1,238,936	1,157,684	752,226	451,857	831,238	1,543,436	2,007,046	2,206,205

※平成29年度については、平成29年12月時点の見込みだよ。

景気の影響を受け、市税収入が伸び悩む中であっても市民サービスの水準を低下させないため、財政調整基金を使った財政運営を行ってきたんだ。その結果、平成25年度までは基金が毎年減っていたんだ。

その後、景気回復にあわせて市税収入も回復し、平成26年度からは基金へ貯金できるようになったんだ。その後も毎年基金に貯金して、平成29年度も増えそうだよ。でもね、まだまだ朝霞市の財政規模に対しては低い水準だから、安定した財政運営を行うためには、ある程度の残高は確保しておく必要があるんだ。





## 第2章 主要な財政指標の推移

### 1 財政力指数・経常収支比率

ちほうこうふせい？

#### 【財政力指数】

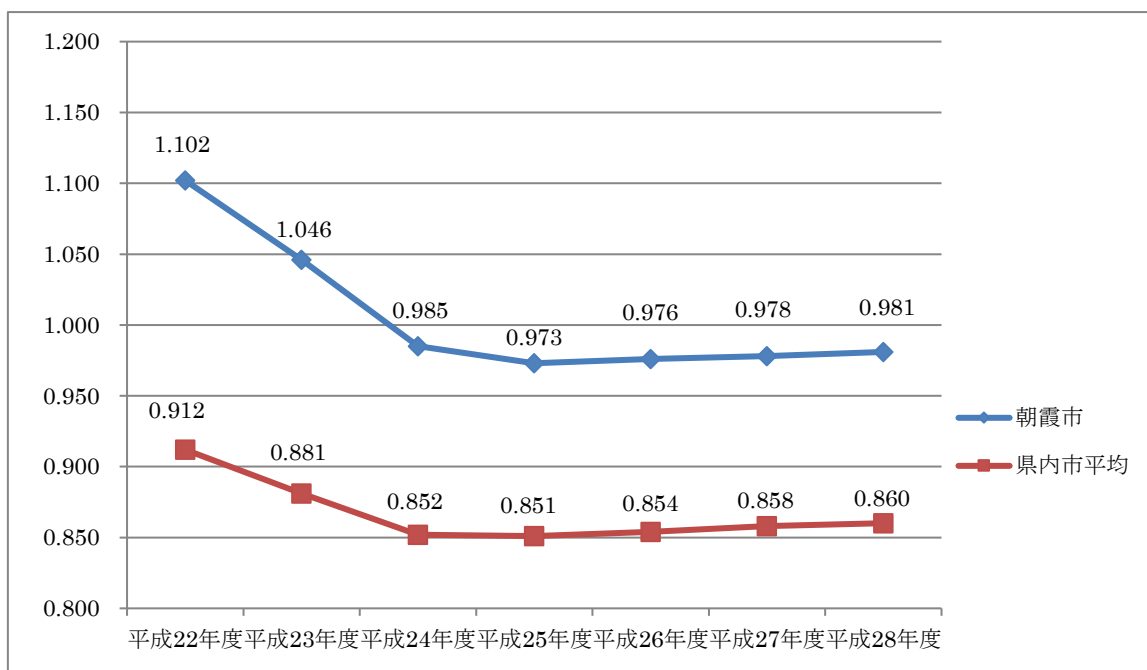
財政力指数とは、市民サービスを行うために必要なお金を自分の力でどれだけ準備できるかを示す指標のことだよ。財政力指数が大きいほど力が強いんだよ。通常過去3か年の平均で示すよ。この指数が「1」を超えると、国から地方交付税がもらえなくなるんだ。



平成28年度の財政力指数は、高い順（良い方）からみて、県内40市中4番目だったよ。

朝霞市は県内市平均を上回っているけど、財源の中心が市税だから、景気に左右されやすいといった特徴があるんだよ。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
朝霞市	1.102	1.046	0.985	0.973	0.976	0.978	0.981



平成23年度まで朝霞市の財政力指数は「1」を超えていたから、地方交付税をもらっていなかったんだ。

でも、景気の影響を受けて、市税などが減ってしまい、財政力指数も「1」を割ってしまったんだ。

じゅうなおかねがすくない!

### 【経常収支比率】

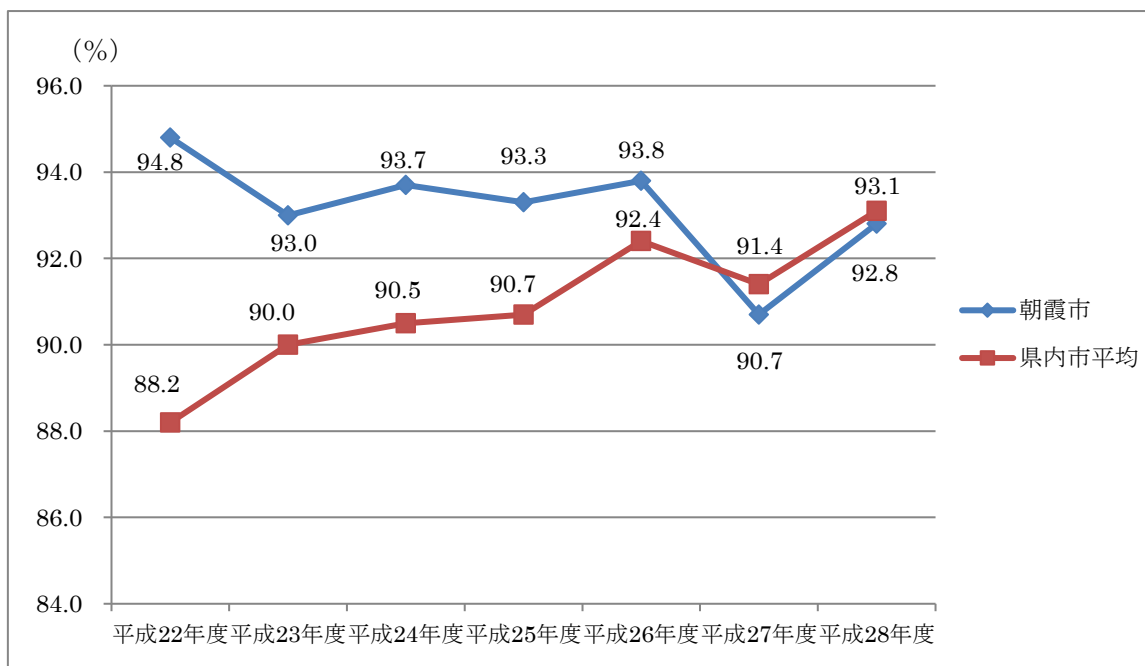
経常収支比率とは、人件費や扶助費などの決まった支出に対して、毎年収入される市税などの経常一般財源、減税補てん債（特例分）や臨時財政対策債をどの程度、その費用に充てているかを見る指標だよ。この指標が高いと、毎年決まった事にお金がかかってしまい、新しい市民サービスの提供などに使う自由なお金が少ないんだ。



だから、この比率が低いほうが色々な市民サービスに使えるお金が多いということになるんだ。平成28年度は、低い順（良い方）からみて、県内40市中23番目だったよ。

平成28年度は、市税収入などは増えているんだけど、まだまだ経常収支比率が90%を超えていて、新しい施策等に使える財源が少ないんだよ。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
朝霞市	94.8	93.0	93.7	93.3	93.8	90.7	92.8



### ※経常一般財源…

毎年度連続して経常的に収入される財源（市税や地方交付税、地方譲与税など）のうち、その用途が特定されず自由に使用することができる収入のことだよ。歳入総額または一般財源総額のうちを占める経常一般財源の割合により、当該団体の収入の安定性と財政上の自立性が、どの程度確保されているかを推測することができるんだ。

チェック!!

## 2 健全化判断比率

健全化判断比率とは、地方財政が破たんしないようにチェックするための指標だよ。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で決められているんだよ。

次の4つの指標の内、一つでも早期健全化基準以上だった場合、「財政健全化団体」に指定され、財政健全化に取り組むことが義務付けられているよ。さらに、一つでも財政再生基準以上だった場合は、「財政再生団体」に指定され、自主的な財政運営が制限されるとともに、国の監督下で財政再建に取り組むことになるんだ。

朝霞市ではどの指標も基準を下回っていて、早期に健全化を求められる状況じゃないんだよ。

### 【実質赤字比率】

一般会計の実質赤字額が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを示す指標だよ。朝霞市の一般会計は赤字じゃないよ。

(単位:%)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
朝霞市	-	-	-	-	-	-	-
早期健全化基準	12.34	12.32	12.30	12.28	12.28	12.23	12.18
財政再生基準	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00

※実質赤字額がないため「-」と表記しているよ。

### 【連結実質赤字比率】

全会計の実質赤字額(又は資金不足額)が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを示す指標だよ。朝霞市は全会計をあわせても赤字じゃないよ。

(単位:%)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
朝霞市	-	-	-	-	-	-	-
早期健全化基準	17.34	17.32	17.30	17.30	17.28	17.23	17.18
財政再生基準	35.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00

※連結実質赤字額がないため「-」と表記しているよ。

へっているね!

### 【実質公債費比率】

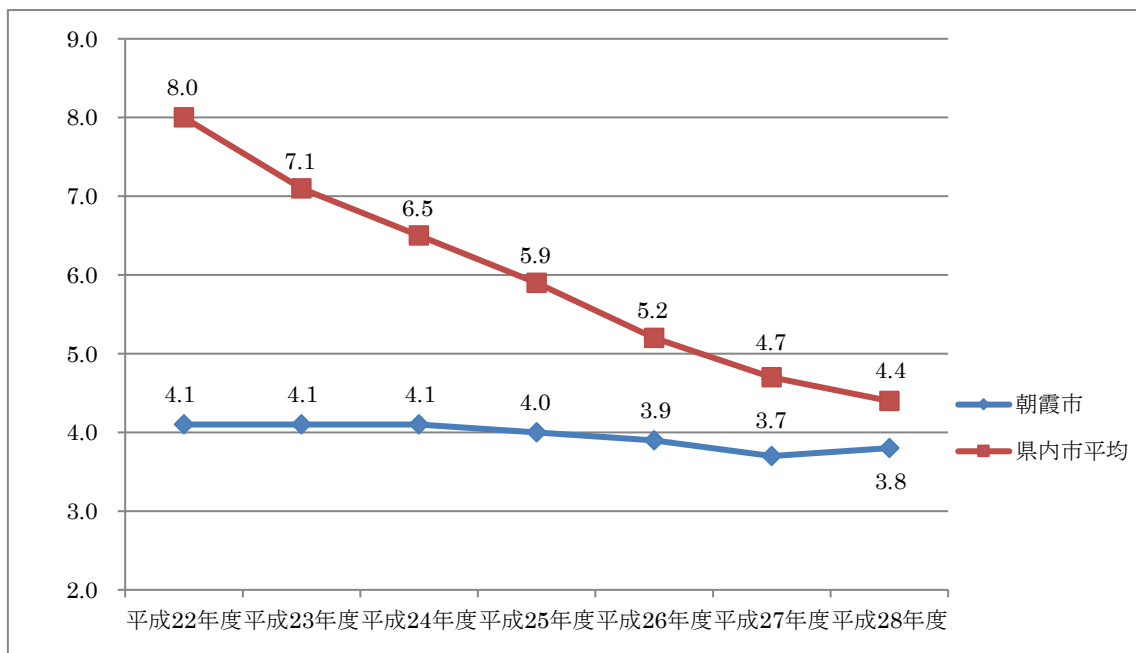
一般会計で支払う借金の返済額が標準財政規模に対してどれくらいあるのかを示すための指標なんだ。

平成28年度は、実質公債費比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中15番目なんだよ。早期健全化基準を大きく下回っていて、さらに県内市平均も下回っているよ。近年は、ほぼ横ばいに推移している状況だよ。



(単位: %)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
朝霞市	4.1	4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	3.8
早期健全化基準	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
財政再生基準	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0



最近、借金で借りるお金よりも、返すお金のほうが多いから、実質公債費比率が減ってきているんだよ。

ふたんへらそう!

【将来負担比率】

一般会計が将来支払うべき借金の返済額が標準財政規模に対してどれくらいあるかを示す指標だよ。

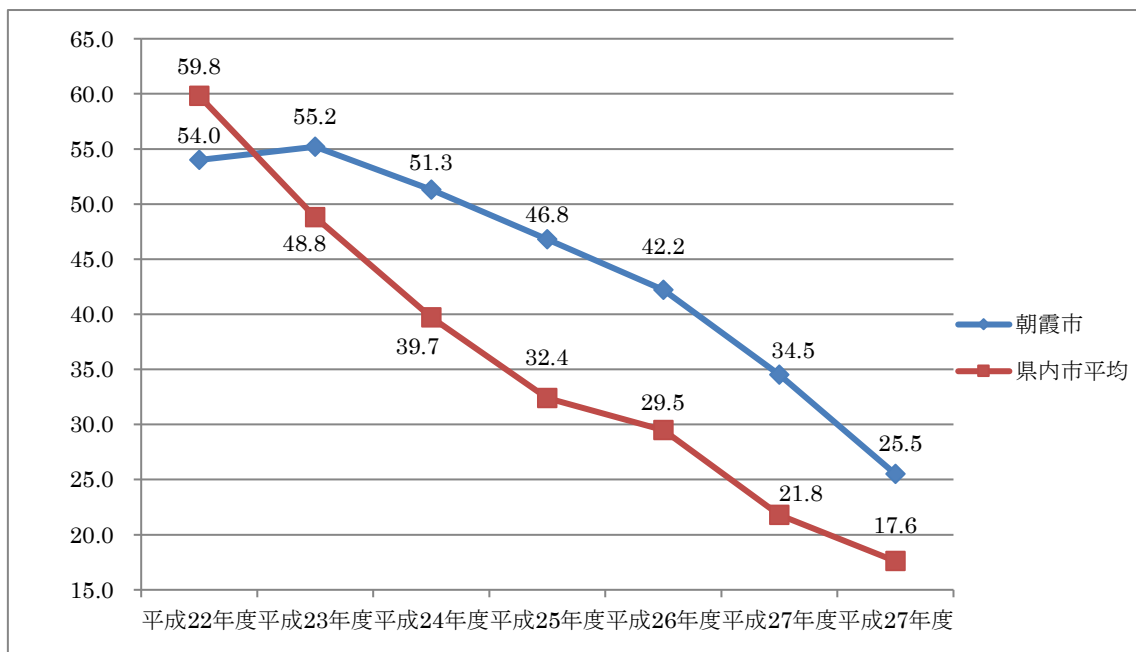
平成28年度は、将来負担比率の低い順（良い方）からみて、朝霞市は県内40市中27番目なんだよ。

県内市平均は上回っているけど、早期健全化基準を大きく下回っていて、平成24年度以降は毎年減ってきているんだ。



(単位: %)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
朝霞市	54.0	55.2	51.3	46.8	42.2	34.5	25.5
早期健全化基準	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0	350.0
財政再生基準							



※標準財政規模…地方公共団体が標準的な状態で収入できるだろう經常一般財源（毎年度継続的に収入される使いみちに制限のない収入）の規模を示すものだよ。標準財政規模は、次の算式で求められるんだ。

$$\text{標準財政規模} = \text{標準税収入額等} + \text{普通交付税額} + \text{臨時財政対策債発行可能額}$$

標準税収入額等…標準税率による税収入、地方譲与税、交通安全対策特別交付金

(単位: 千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
標準財政規模	21,654,184	21,873,348	22,066,854	22,349,750	22,371,324	23,004,151	23,577,204

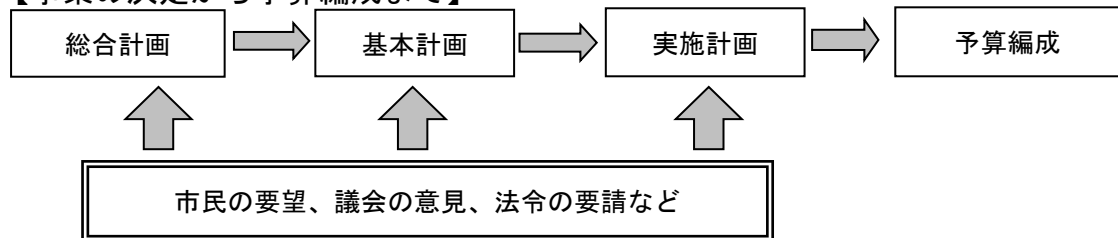
# 第3章 予算編成

## 1 予算編成の流れ

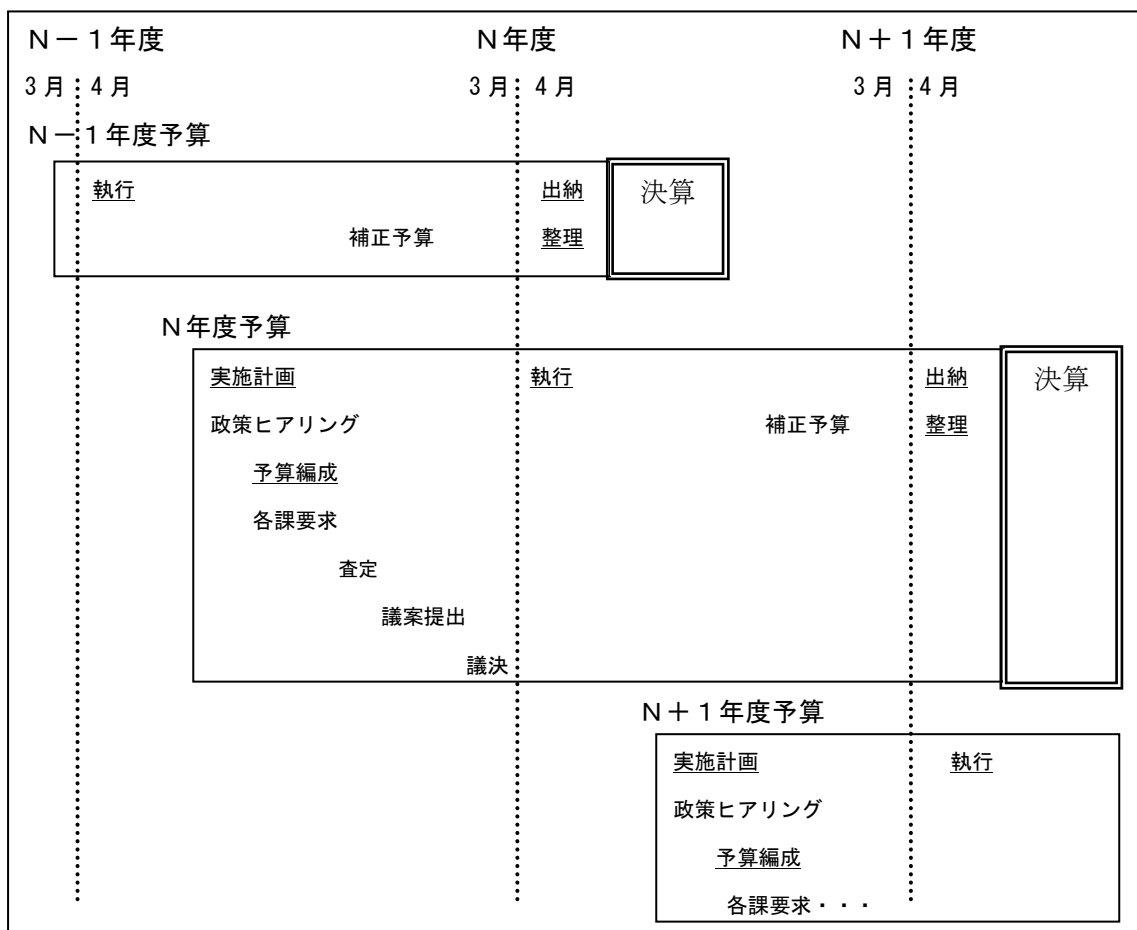


予算とは1年間の歳入と歳出の見積りのことで、予算編成とは、その見積りを作ることなんだよ。予算を作るといっても、ルールなどの決まりごとがないと決められないよね。そこで、朝霞市では、総合計画に基づいて事業の優先度を政策的に判断し、優先度の高い事業については重点的に予算を配分する、政策主導型の予算編成を行っているんだよ。歳入は限られているから、少ないお金でより良いサービスを提供できるように予算編成に取り組んでいるんだ。

【事業の決定から予算編成まで】



【予算編成の流れ】

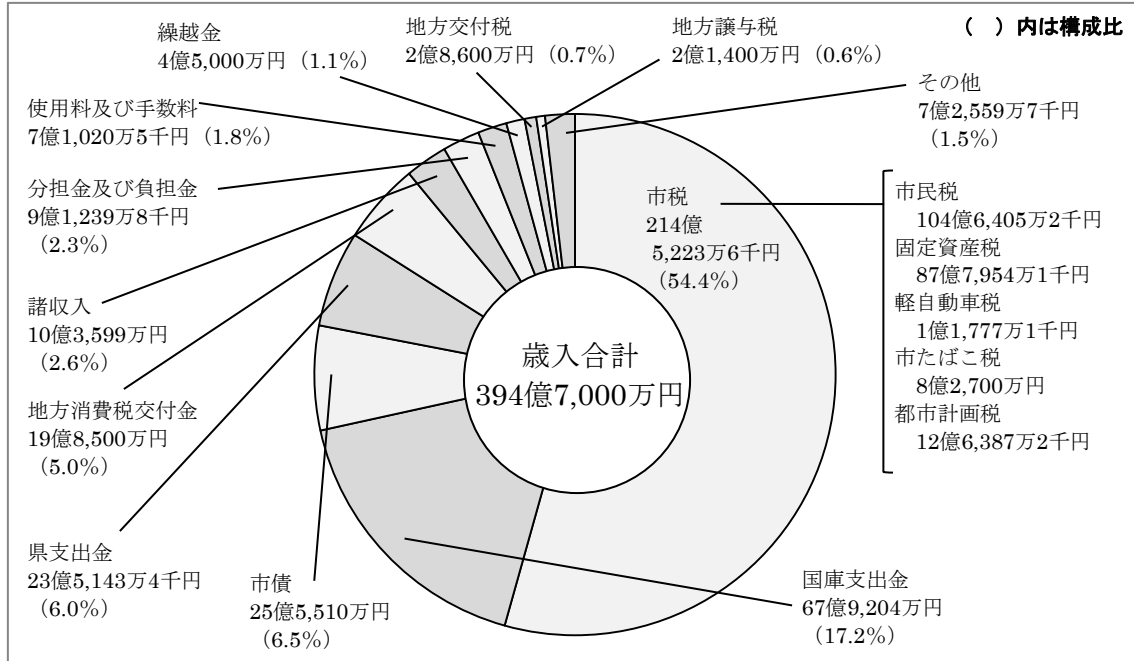


## 2 平成29年度一般会計当初予算



しかそのとしやることは、  
よさんをみればわかるんだね！！

### 【歳入の状況】



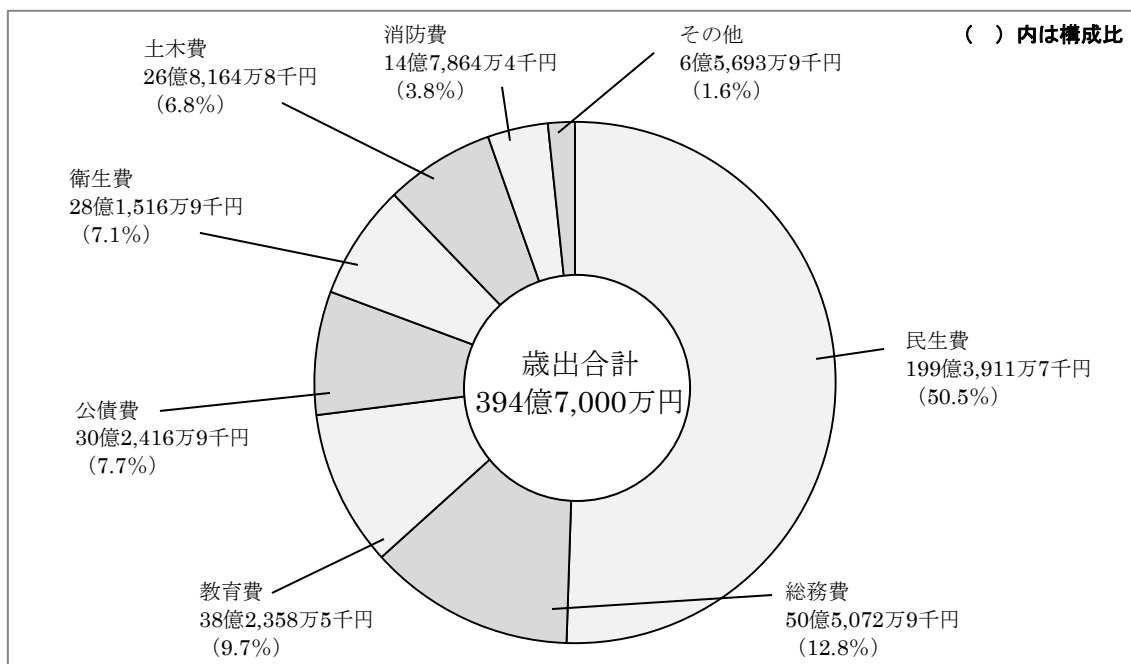
(単位:千円・%)

款	予算額	構成比	款	予算額	構成比
市 税	21,452,236	54.4	交通安全対策特別交付金	15,144	0.0
地 方 譲 与 税	214,000	0.6	分 担 金 及 び 負 担 金	912,398	2.3
利 子 割 交 付 金	18,000	0.1	使 用 料 及 び 手 数 料	710,205	1.8
配 当 割 交 付 金	124,000	0.3	国 庫 支 出 金	6,792,040	17.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	126,000	0.3	県 支 出 金	2,351,434	6.0
地 方 消 費 税 交 付 金	1,985,000	5.0	財 産 収 入	46,681	0.1
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	14,000	0.0	寄 附 金	1	0.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	59,000	0.2	繰 入 金	71,771	0.2
国 有 提 供 施 設 等 所 在	121,000	0.3	繰 越 金	450,000	1.1
市 町 村 助 成 交 付 金	130,000	0.3	諸 収 入	1,035,990	2.6
地 方 特 例 交 付 金	130,000	0.3	市 債	2,555,100	6.5
地 方 交 付 税	286,000	0.7	合 計	39,470,000	100.0

※網掛け部分は自主財源を、それ以外は依存財源を表しているよ。

予算は見積もりだから、歳入と歳出の合計額が一緒なんだよ。

## 【歳出の状況】



(単位:千円・%)

款	予算額	構成比	款	予算額	構成比
議会費	285,885	0.7	土木費	2,681,648	6.8
総務費	5,050,729	12.8	消防費	1,478,644	3.8
民生費	19,939,117	50.5	教育費	3,823,585	9.7
衛生費	2,815,169	7.1	公債費	3,024,169	7.7
労働費	1,437	0.0	諸支出金	6,007	0.0
農林水産業費	66,846	0.2	予備費	50,000	0.1
商工費	246,764	0.6	合計	39,470,000	100.0

議会費…議会の活動に要する経費

総務費…戸籍・統計・徴税・選挙等の経費

民生費…福祉など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するために支出される経費

衛生費…住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費

労働費…労働者を支援するための各種事業に要する経費

農林水産業費…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費

商工費…中小企業への融資支援、商工業の振興等のための経費

土木費…道路橋りょうの整備・改良、都市計画等に要する経費

消防費…災害から地域住民の生命と財産を守るために必要な消防設備等の整備を行うための経費

教育費…学校・図書館・公民館・博物館等の施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務のための経費

公債費…市が借り入れした市債(借金)の元金、利子の償還費



## 番外編 Point 解説（ぽぽたんのぎもん）

よろしく

色々難しい言葉がでてきてぽぽたんには難しかったかな！！  
もう少し説明が必要なところについて、解説するよ！



### Point①

民生費は具体的にどんなサービスがあって、なんで今後も増えていくの？

#### こたえ①

民生費は、重い病気や障害者の方々のお手伝いや高齢者がおうちで自立した生活を送るためのお手伝い、それから、こども医療費の支払いや保育園の整備や運営などといった、いわゆる福祉や医療などの経費として使われているんだ。

これらの事業は、市民の生活に直結することから、減らすことの難しい市民サービスであるため、今後も増加していくものと考えられているんだよ。

### Point②

黒字ということは、朝霞市はお金持ちなのかな？

#### こたえ②

最近では、景気の回復にあわせて市税収入も回復してきているよ。また、人口も毎年増えてきているんだ。でもね、新しい行政課題が出てきていて、それに対応するためには、たくさんのお金が必要になってくるんだ。

たとえば、昔に建てた建物や道路などが古くなって、修理しないと使えないとか、扶助費が年々増加しているなど、市が抱えている課題はたくさんあるんだ。だから、その年だけ見て、黒字だからいいんだって言うことは言えないんだよ。それよりも、将来に備えなければいけないという危機感を持っていないと不測の事態が起きた時に対応できなくなってしまうんだ。

結果、平成28年度の実質単年度収支は黒字だけど、借金の返済も残っているし、今後も公共施設の修理にもたくさんお金がかかることから、朝霞市はお金持ちであるということではないんだよ。



Point③

市税が減収になるとどうなっちゃうのかな？

こたえ③

朝霞市の歳入の半分以上は市税であることをさっき勉強したよね。だから、市税が減ると、これまで行ってきた、市民サービスが提供できなくなってしまう恐れがあるんだよ。

市税には、景気の影響を受けやすいといった特徴があるんだ。だから、そんなときのために、貯金をしておく必要があるんだよ。市民サービスの水準はそのままに、なるべく少ないお金で市民に満足してもらえよう努力する必要があるんだ。

Point④

扶助費はこれからも増えていくと、朝霞市の財政状況はどうなるの？

こたえ④

扶助費の説明はさっきしたけど、扶助費は義務的経費とも呼ばれ、その名前のとおり、支払いが義務付けられている費用なんだ。そのため、扶助費が減ることは、特別な理由がない限りは、考えられないんだ。そして、扶助費がこのままどんどん増えていくと、新しいことに使えるお金が減ってってしまうんだ。だから、お金の使いみちに優先順位をつけていくことが、ますます大事になってくるんだ。



ほくといっしょにべんきょうしてくれてありがとう。  
でもとってもむずかしかったな。

ほぼたん最後まで付き合ってくれてありがとう。

でも、少し難しかったよね。わからないことがあったら、いつでも聞いてね。  
それから、本冊子を見られた市民の皆さんが朝霞市の財政に興味を持っていた  
ただき、少しでも身近に感じていただけると幸いです！！

# 朝霞市の財政

## (資料編)

本編に関連するデータを掲載しています。

資料 1 歳入・歳出決算額の推移

資料 2 実質収支の推移（一般会計）

資料 3 市債現在高の推移

## 資料1 歳入・歳出決算額の推移

単位：千円・%

年度 款	平成10年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
	決算額	決算額	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率									
市 税	17,161,829	20,689,054	21,056,700	1.8	20,782,769	△ 1.3	19,950,261	△ 4.0	20,104,139	0.8	20,306,302	1.0	20,532,649	1.1	20,869,175	1.6	21,263,529	1.9	21,634,756	1.7
地方譲与税	209,816	259,253	249,768	△ 3.7	234,012	△ 6.3	229,808	△ 1.8	235,076	2.3	219,575	△ 6.6	210,324	△ 4.2	191,649	△ 8.9	200,716	4.7	215,524	7.4
利子割交付金	133,944	90,244	88,652	△ 1.8	72,020	△ 18.8	64,238	△ 10.8	50,670	△ 21.1	45,221	△ 10.8	41,231	△ 8.8	36,704	△ 11.0	32,193	△ 12.3	20,791	△ 35.4
配当割交付金		94,447	34,990	△ 63.0	27,467	△ 21.5	34,518	25.7	39,600	14.7	45,710	15.4	87,513	91.5	166,877	90.7	130,680	△ 21.7	86,741	△ 33.6
株式等譲渡所得割交付金		53,260	12,098	△ 77.3	14,710	21.6	11,602	△ 21.1	9,839	△ 15.2	13,258	34.7	143,940	985.7	102,340	△ 28.9	132,599	29.6	52,978	△ 60.0
地方消費税交付金	958,273	1,000,050	932,239	△ 6.8	994,686	6.7	992,977	△ 0.2	1,002,726	1.0	1,013,566	1.1	1,004,928	△ 0.9	1,228,034	22.2	2,043,702	66.4	1,855,695	△ 9.2
ゴルフ場利用税交付金	28,215	15,345	15,304	△ 0.3	15,884	3.8	14,371	△ 9.5	14,051	△ 2.2	13,748	△ 2.2	13,885	1.0	14,549	4.8	14,454	△ 0.7	14,572	0.8
特別地方消費税交付金	3,397																			
自動車取得税交付金	195,127	191,368	173,203	△ 9.5	101,440	△ 41.4	88,558	△ 12.7	53,773	△ 39.3	95,094	76.8	83,001	△ 12.7	37,294	△ 55.1	60,560	62.4	62,666	3.5
国有提供施設等所在市町村助成交付金	89,945	57,173	41,177	△ 28.0	79,892	94.0	100,746	26.1	100,655	△ 0.1	117,194	16.4	111,354	△ 5.0	111,376	0.0	115,181	3.4	121,629	5.6
地方特例交付金		129,578	295,056	127.7	267,288	△ 9.4	243,510	△ 8.9	309,688	27.2	130,160	△ 58.0	123,587	△ 5.0	111,934	△ 9.4	111,539	△ 0.4	121,176	8.6
地方交付税	1,583,280	137,018	139,970	2.2	140,124	0.1	160,397	14.5	589,349	267.4	625,351	6.1	584,041	△ 6.6	452,249	△ 22.6	467,441	3.4	401,441	△ 14.1
交通安全対策特別交付金	20,188	20,291	17,642	△ 13.1	17,824	1.0	16,676	△ 6.4	16,108	△ 3.4	16,077	△ 0.2	16,061	△ 0.1	14,345	△ 10.7	15,028	4.8	14,494	△ 3.6
分担金及び負担金	420,430	507,890	483,450	△ 4.8	503,338	4.1	499,344	△ 0.8	513,738	2.9	562,107	9.4	631,809	12.4	696,599	10.3	838,475	20.4	857,452	2.3
使用料及び手数料	652,087	730,927	765,683	4.8	749,512	△ 2.1	745,721	△ 0.5	738,879	△ 0.9	749,512	1.4	736,956	△ 1.7	732,790	△ 0.6	741,909	1.2	739,749	△ 0.3
国庫支出金	2,020,625	2,754,247	3,299,798	19.8	6,239,445	89.1	4,977,568	△ 20.2	5,416,952	8.8	5,148,676	△ 5.0	5,226,516	1.5	5,895,068	12.8	6,360,587	7.9	7,411,567	16.5
県支出金	1,031,561	1,369,469	1,335,321	△ 2.5	1,346,947	0.9	1,726,818	28.2	2,049,425	18.7	2,139,928	4.4	2,078,387	△ 2.9	2,182,265	5.0	2,290,350	5.0	2,390,167	4.4
財産収入	28,041	10,270	20,689	101.5	14,952	△ 27.7	31,359	109.7	339,525	982.7	142,037	△ 58.2	229,278	61.4	93,909	△ 59.0	51,234	△ 45.4	91,119	77.8
寄附金	25,300	287	3,827	1233.4	391	△ 89.8	484	23.8	414	△ 14.5	10,848	2519.9	5,613	△ 48.3	817	△ 85.4	1,819	122.6	1,013	△ 44.3
繰入金	190,251	227,275	352,925	55.3	151,104	△ 57.2	848,949	461.8	111,852	△ 86.8	433,440	287.5	1,002,795	131.4	319,045	△ 68.2	173,241	△ 45.7	65,671	△ 62.1
繰越金	1,957,859	2,684,538	1,846,120	△ 31.2	1,772,925	△ 4.0	1,360,091	△ 23.3	1,224,624	△ 10.0	1,118,883	△ 8.6	1,076,081	△ 3.8	1,418,228	31.8	947,530	△ 33.2	1,074,221	13.4
諸収入	904,738	1,037,510	1,089,693	5.0	1,039,896	△ 4.6	1,327,139	27.6	1,146,367	△ 13.6	1,177,350	2.7	1,324,670	12.5	1,243,093	△ 6.2	1,249,863	0.5	1,341,701	7.3
市債	2,160,000	2,513,371	3,170,478	26.1	3,968,731	25.2	2,318,167	△ 41.6	2,275,173	△ 1.9	2,114,184	△ 7.1	1,770,552	△ 16.3	1,713,809	△ 3.2	1,856,585	8.3	1,686,090	△ 9.2
合計	29,774,906	34,572,865	35,424,783	2.5	38,535,357	8.8	35,743,302	△ 7.2	36,342,623	1.7	36,238,221	△ 0.3	37,035,171	2.2	37,632,149	1.6	39,099,215	3.9	40,261,213	3.0

年度 款	平成10年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
	決算額	決算額	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率	決算額増減率									
議会費	257,300	248,905	252,927	1.6	275,908	9.1	250,438	△ 9.2	311,907	24.5	296,191	△ 5.0	290,729	△ 1.8	292,300	0.5	282,878	△ 3.2	280,222	△ 0.9
総務費	3,971,951	4,138,235	4,189,710	1.2	4,424,094	5.6	4,201,084	△ 5.0	3,872,845	△ 7.8	3,920,221	1.2	4,291,635	9.5	4,758,979	10.9	5,672,270	19.2	5,331,762	△ 6.0
民生費	6,807,808	11,598,258	11,418,903	△ 1.5	12,165,940	6.5	14,844,261	22.0	15,575,434	4.9	16,070,055	3.2	16,882,399	5.1	17,852,152	5.7	18,559,284	4.0	20,101,436	8.3
衛生費	2,774,153	2,617,958	2,740,339	4.7	2,530,526	△ 7.7	2,895,845	14.4	2,952,128	1.9	2,900,293	△ 1.8	2,680,223	△ 7.6	2,859,516	6.7	2,727,219	△ 4.6	2,778,296	1.9
労働費	58,514	40,409	29,212	△ 27.7	26,914	△ 7.9	27,098	0.7	26,359	△ 2.7	24,361	△ 7.6	24,353	△ 0.0	1,466	△ 94.0	1,454	△ 0.8	1,419	△ 2.4
農林水産業費	68,646	76,992	79,051	2.7	78,363	△ 0.9	89,024	13.6	69,390	△ 22.1	72,562	4.6	74,008	2.0	71,655	△ 3.2	69,987	△ 2.3	64,407	△ 8.0
商工費	1,124,276	193,485	202,421	4.6	2,159,463	966.8	231,435	△ 89.3	228,284	△ 1.4	244,404	7.1	256,535	5.0	255,314	△ 0.5	379,228	48.5	232,536	△ 38.7
土木費	4,668,409	5,274,233	3,669,699	△ 30.4	3,348,861	△ 8.7	2,832,641	△ 15.4	2,869,059	1.3	3,147,178	9.7	2,595,626	△ 17.5	2,161,457	△ 16.7	2,424,980	12.2	2,560,266	5.6
消防費	1,638,085	1,283,957	1,288,258	0.3	1,280,101	△ 0.6	1,274,330	△ 0.5	1,253,789	△ 1.6	1,250,939	△ 0.2	1,266,693	1.3	1,265,516	△ 0.1	1,309,480	3.5	1,301,850	△ 0.6
教育費	3,724,707	4,664,907	6,953,379	49.1	8,007,634	15.2	4,878,564	△ 39.1	4,931,987	1.1	4,079,980	△ 17.3	4,054,108	△ 0.6	4,011,543	△ 1.0	3,601,534	△ 10.2	3,556,456	△ 1.3
公債費	2,493,935	2,586,524	2,822,100	9.1	2,874,225	1.8	2,991,975	4.1	3,132,393	4.7	3,155,720	0.7	3,200,426	1.4	3,154,633	△ 1.4	2,996,465	△ 5.0	2,986,810	△ 0.3
諸支出金	223,402	02,883	5,859	103.2	3,237	△ 44.8	1,983	△ 38.7	165	△ 91.7	236	43.5	208	△ 12.4	88	△ 57.6	215	144.4	28	△ 87.0
合計	27,811,186	32,726,746	33,651,858	2.8	37,175,266	10.5	34,518,678	△ 7.1	35,223,740	2.0	35,162,140	△ 0.2	35,616,943	1.3	36,684,619	3.0	38,024,994	3.7	39,195,488	3.1

資料2 実質収支の推移（一般会計）

単位：円・%

区 分	23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度
予 算 現 額	36,391,152,828	36,285,842,320	37,131,871,458	37,868,649,400	39,468,402,667	41,002,353,180
最終予算額（前年度からの継続費及び繰越事業費財源充当額を除いたもの。）	36,096,901,000	36,043,533,000	36,805,029,000	37,338,560,000	39,078,111,000	40,416,656,000
歳 入 決 算 額 A	36,342,623,419	36,238,221,501	37,035,171,254	37,632,149,420	39,099,215,932	40,261,213,797
収 納 率	99.9	99.9	99.7	99.4	99.1	98.2
歳 出 決 算 額 B	35,223,740,242	35,162,140,657	35,616,943,213	36,684,619,991	38,024,994,143	39,195,487,917
執 行 率	96.8	96.9	95.9	96.9	96.3	95.6
歳 入 歳 出 差 引 額 A-B C	1,118,883,177	1,076,080,844	1,418,228,041	947,529,429	1,074,221,789	1,065,725,880
継 続 費 通 次 繰 越 額 D	21,301,320	19,715,400	57,711,200	11,754,840	16,275,800	10,949,742
繰 越 明 許 費 繰 越 額 E	49,126,000	7,323,058	15,752,000	31,997,200	48,559,380	48,921,200
事 故 繰 越 し 繰 越 額 F		38,791,000	28,069,200			801,000
実 質 収 支 C-D-E-F	1,048,455,857	1,010,251,386	1,316,695,641	903,777,389	1,009,386,609	1,005,053,938
実 質 収 支 比 率 （ 一 般 会 計 ）	4.8	4.6	5.9	4.0	4.4	4.3

資料3 市債現在高の推移

単位：千円

	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末見込
一般会計	33,404,623	33,026,804	32,442,721	31,441,606	30,386,209	29,587,241	28,571,896	28,923,443
(うち臨時財政対策債)	11,866,630	12,671,539	13,296,717	13,713,071	13,864,302	13,715,556	13,350,617	12,828,889
下水道事業特別会計	3,673,314	3,311,999	2,981,055	2,783,330	2,771,444	3,038,948	3,086,945	3,235,104
水道事業会計	5,260,670	4,947,403	4,621,789	4,283,309	3,931,418	4,235,746	4,566,720	4,889,282
特別会計合計	8,933,984	8,259,402	7,602,844	7,066,639	6,702,862	7,274,694	7,862,846	8,124,386
全会計合計	42,338,607	41,286,206	40,045,565	38,508,245	37,089,071	36,861,935	36,847,674	37,047,829

※平成29年度については平成29年12月時点での見込みです。





作成 朝霞市総務部財政課

〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1丁目1番1号

TEL 048-463-1111 (代表)

TEL 048-463-3179 (直通)